

新規事業を確実に速やかに

[事業創造本部]

今よりも未来をより良くすること。それに挑戦し、実現させることで、世の中の持続可能性を高めることに貢献し、三井金属グループの企業価値向上を図ります。

市場共創による新事業創出のプロセスについて次のように捉えています。

- 1) パートナー企業、お客様、スタートアップ、大学・研究機関などの“外の力”とのコミュニケーションや共同活動を通じて、私たちの有する技術との融合による共創の場を育む
- 2) 私たちの保有するコア技術、ノウハウを活かし進化させた革新的な技術による新商品の具現化、そして、これまで培ってきた販売チャンネルを最大限に活かしたサプライチェーンの構築

このプロセスを通じ、新規事業を創り出すキー・ファクターとして

- i 市場共創
- ii 新技術の創出
- iii 新規事業を生み出せる人材育成

を掲げ、それらに即した部門を本部内に組織化しています。

まず、ファクターのひとつ目、市場との共創活動を推進し、事業機会を探索、創出する部門として、市場共創推進部を設けています。足下は電池材料や触媒材料などの環境・エネルギー領域を中心に、“外の力”とともに共創の場を育むべく、コミュニケーションの幅を広げることで新規事業につながる案件の創出に努めています。

次に、私たちのコア技術を創造的な研究開発により、将来の中核となる新規事業を生み出す部門として、総合研究所を配しています。

市場の動きと同調した研究開発活動により、速やかかつタイムリーな新規事業創出を進めています。具体的には、研究開発テーマを進捗状況にて区分し、事業化間近に迫ったテーマを事業化推進テーマとして取り上げ、量産活動のための設備導入、操業条件の確立、品質保証体制を構築し、供給体制を整備する仕組みを持って運営しています。直近の取り組みとしては、「全固体電池向け固体電解質」テーマを事業化推進テーマへ移管しています。

そして、革新的な設備・生産技術を取り入れ、新規事業を競争力あるプロセスに落とし込む量産プロセス開発部です。

研究開発段階、さらにはその上流である共創の場を育む段階からテーマに参画することにより、キーとなる量産技術を確実にプロセスに組み込むことで、競争力を確保しつつ、狙った機能を発現する量産技術を速やかに構築してまいります。

事業化推進テーマとして取り組んでいます「全固体電池向け固体電解質」や「次世代半導体チップ実装用特殊ガラスキャリア HRDP®」においては、早速その役割を發揮しています。



執行役員 事業創造本部長
安田 清隆 Yasuda Kiyotaka

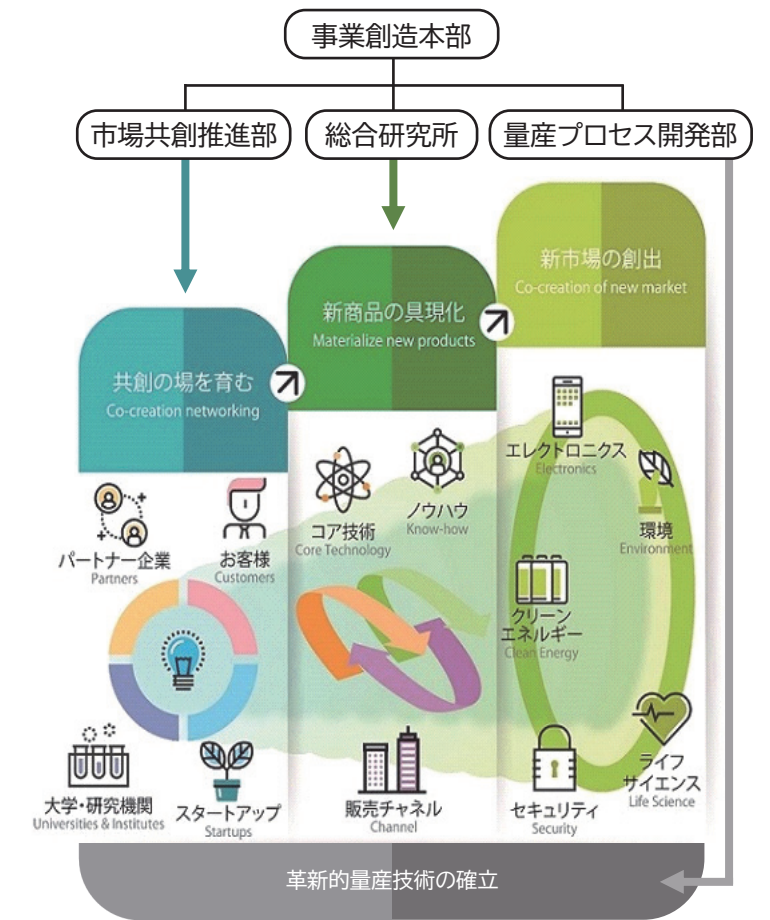
三井金属本社部門の中に事業創造本部を設けてから一年が経ちました。私たち本部のミッションは「利益を生み出す新商品や新規事業を確実に速やかに創り出す」ことであり、グループ挙げて取り組んでいます“両利きの経営”の中の「新規事業の探索」の機能を担っています。

新規事業創造に向けて

新しい材料や技術の事業化には相応の時間を要しますが、確実なことは、これからの10年は世界が大きく、そしてこれまでにない速度で早く変わるのであるということです。当社のコア技術を「外の力」とイノベティブに融合する「市場共創活動」をより一層加速し、事業創造を実現していきます。

未来をより良くすることに挑み、そして実現させることで、社会の持続可能性を高め、三井金属の企業価値向上に尽力してまいります。

[右図]
市場共創による新規事業創出のイメージと事業創造本部組織



「19中計」の仕上げ

2021年度に成し遂げる 3つの重点取組み

1 事業化推進テーマ商品の上市
全固体電池向け固体電解質、HRDP®商品のお客様での販売や顧客認定評価が進んでおり、確実に事業化へと進めます。

2 将来の大型事業機会創出のための仕込み
研究開発の加速、事業創造事業体への変革は確実に進んでいますが、将来に繋がる大型テーマという観点ではまだ十分ではないと認識しています。今年度は環境課題を含めた世の中のニーズに焦点をあてて、本部門で指向をそろえ将来洞察を行ない、三井金属のサステナビリティにも寄与できる大型事業機会創出の研究開発および新事業テーマの仕込みを図ります。

3 自律自走可能な体制構築と挑戦する個人・組織への変革完了
事業化を推進する上での体制強化、とくに量産プロセス開発機能の強化を進めます。そして、大学や社外研究機関とのネットワーク強化を通して新規事業を生み出せる視座の高い人材育成を進めます。

事業化推進テーマの進捗状況

全固体電池向け固体電解質

- [市場開拓]
・マクセル株式会社にて小型全固体電池をサンプル出荷中
・日立造船株式会社にて世界最大クラス的全固体電池をサンプル出荷中
- [量産体制]
・既存製造ラインにて量産体制確立、製品出荷開始
・スケールアップ量産試験用設備が完工し、量産技術確立に取り組み中



次世代半導体チップ実装用特殊ガラスキャリア HRDP®

- [市場開拓]
・国内の複合チップモジュールメーカー向けに出荷開始
・2021年度中に海外の大手実装メーカーにて量産採用を予定
- [量産体制]
・ジオマテック株式会社と量産体制確立し、製品出荷開始

